

環境経営レポート

株式会社 大邦工業

2023 年度

(対象期間: 2023 年5月1日～ 2024 年4月30日)



発行日: 2024年5月10日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10



タンパーによる作業

□ごあいさつ

弊社は、平成26年4月より大阪市内を中心に公共工事を主に総合事業活動に取り組んでまいりました。従業員は少数ですが、一人一人のスキルアップに力を入れながら、事業活動を展開して今日に至っております。高度成長期に多く作られてきた舗装された道路などは徐々に劣化が進み皆様の毎日に危険を及ぼします。地域の皆様の安全のために、確かな技術をもって努力を惜しまず活躍の幅を広げてまいりたいと思っております。社員全員に環境に優しい取り組みを根づかせ、今後も、人に優しい豊かな環境創造を目標に、建設業としての社会的責務を果たしてゆく決意です。働き方改革の推進やエコアクションを通じ、社会的責任を果たし企業価値の向上に努めて参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

環 境 経 営 方 針

本業である土木・舗装工事等を通じて、二酸化炭素排出量の削減などにより地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的に参加し、環境保全活動に積極的に取り組みます。従業員の技術向上や環境保全を協力企業と一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギー等により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 環境に配慮した工事に努めます。
6. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2022年10月1日

改定日：2023年5月1日

代表取締役社長 中村 邦也

組 織 の 概 要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 大邦工業
代表取締役社長 中村 邦也
- (2) 所在地
本 社 大阪府大阪市東住吉区中野3-1-11-202
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 芳野 佳寿美 TEL : 06-7850-8123
- (4) 事業内容
土木工事、舗装工事、積算関連業務
- (5) 事業の規模
売上高 66,754 万円 (積算関連業務 215件 52,500万円)
- | | | |
|----------------------|-------------------|-------------------|
| | 本 社 | 合 計 |
| 従業員 名 | 4 名 | 4 名 |
| 延べ床面積 m ² | 50 m ² | 50 m ² |
- (6) 事業年度 5 月 1 日 ~ 4 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 株式会社 大邦工業
対象事業所 : 本 社

活動 : 土木工事、舗装工事、積算関連業務
許可 (特-2) 第141387号 (般-2) 第141387号

□事業の紹介

主な事業の紹介

水道事業をメイン
に、土木・管工事・
インフラ整備・基

施工例の紹介

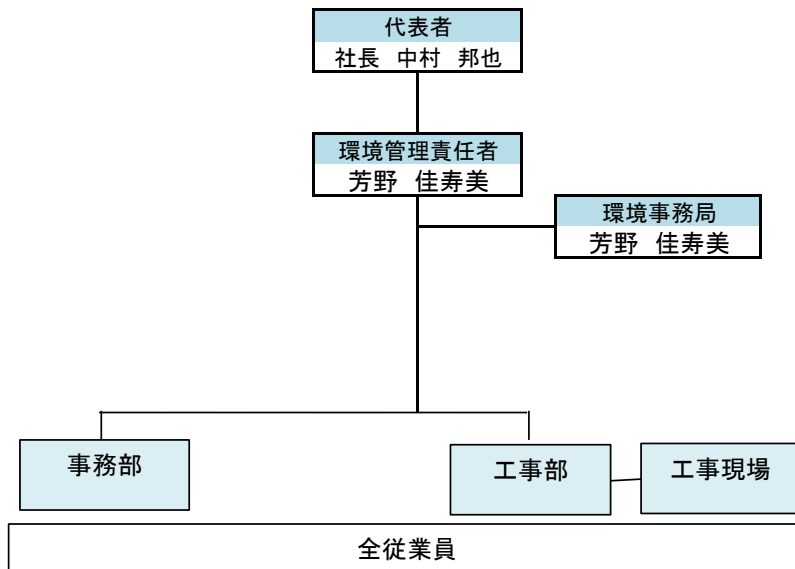
舗装切断・舗装取り壊
し・掘削工・積込
・配管工事・埋戻し

サービスの紹介

水道一式工事
土木一式工事
管工事一式



環境経営組織及び役割・責任・権限



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
各部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg・CO ₂		15,860	16,102
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg		590	593
	CO2排出係数		0.421	0.421
	電力会社		大阪ガス電力	大阪ガス電力

kg-CO₂/kWh

※水の量は賃貸事務所のため計測不可です。

※大阪ガス電力のCO2排出係数（調整後）は2022年度の0.421kg-CO₂/kWhを使用する。

環境経営目標及びその実績

活動期間							
項 目	年 度	2022年	2023年		評価	2024年	2025年
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kWh	3,031	3,001	2,850	○	2,970	2,940
	基準年度比		99%	95%	○	98%	97%
	売上高原単位	0.005	0.004	0.004	○	0.004	0.004
	kg-CO ₂	1,276	1,263	1,200	○	2,970	2,940
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	14,584	14,438	14,902	×	14,438	14,292
	基準年度比	2022年	99%	102%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	15,860	15,702	16,102		17,409	17,233
一般廃棄物の削減	kg	590	584	593	×	578	572
	基準年度比		99%	101%		98%	97%
建設副産物の再資源化率の向上	%	60%	61%			62%	63%
水道水の削減	計測不可のため行動目標（次項による）						
環境に配慮した工事の推進	行動目標（次項による）						

※ 化学物質は使用していないので、目標設定していません。

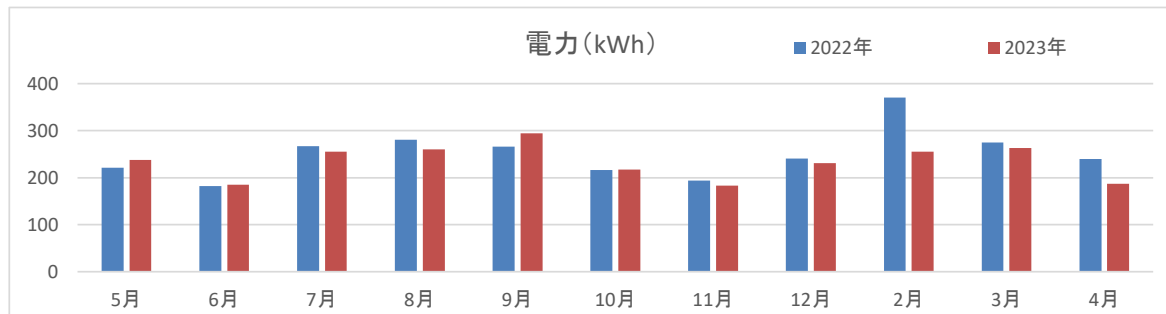
※ 建設副産物の再資源化率の向上は、元請工事が無いため算出しておりません。

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標:○達成 ×未達成

活動:○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

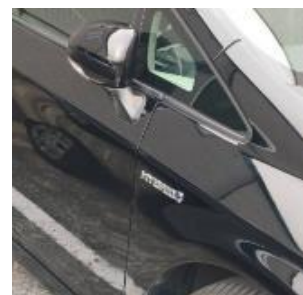
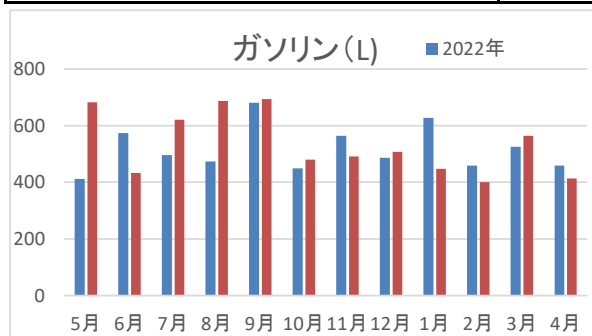
取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組内容
数値目標	○	本年度は昨年度の目標値を達成することができた。 前期の反省を生かしたことが成果につながった。 従業員全員でエコアクションに対する意識を変えれたことが目標達成に大きく貢献した。 引き続き、節電ポスターの掲示・使用していない機器等は電源を切る。またはコンセントを抜く等、節電に努めている。また、エアコンの適正温度は設定の数値に徹底し、衣類で体温調整をする。照明はLED照明を
・空調温度の適正化(冷房26℃ 暖房23℃)	○	
・不要照明の消灯・LED照明を採用	○	
・衣類で温度調節	○	
・エアコンの使用を控える	○	
・電源スイッチはこまめに消す	○	



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	221	182	267	281	266	216	194	241	370	370	275	240
2023年	238	185	255	260	294	217	183	231	282	255	263	187

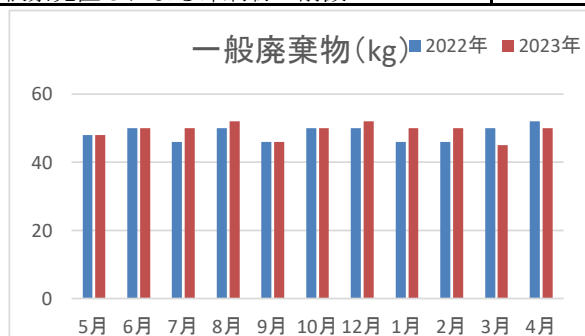


自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組内容
数値目標	×	アイドリングポスターの掲示・その他・エアコンはできるだけ付けない。「空ぶかししない」、「急発進・加速しない」などを従業員に周知実行している。
・エコドライブの徹底	○	ハイブリッド車を導入した。目的地へは事前にGoogleマップを活用し、最新データで最短距離を調べてからルートを考えるようにしている。しかし、月ごとの営業回数が前年より増えたために走行距離が増加し、結果的に目標達成は至らなかった。
・効率的なルートで配送	○	
・更新時にハイブリッド車を選定	○	



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	412	574	497	473	681	448	564	486	628	459	525	459
2023年	682	434	622	687	694	480	492	507	448	401	564	413

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組内容
数値目標	×	ゴミの分別の徹底。シュレッダーのゴミはリサイクルボックスへ搬入している。引き続きリサイクルの徹底をしていきます。
・分別の徹底	○	本年度は前年より前期のごみの排出量が少し増えたので未達成であった。
シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
梱包材の再利用	○	
帳票見直しによる印刷物の削減	○	



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	48	50	46	50	46	50	52	50	46	46	50	52
2023年	48	50	50	52	46	50	50	52	50	50	45	50

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	2024年3月、下請け工事として舗装工事を行った。砕石、ガラ、スラグが発生し、再資源化が出来た。
・分別の徹底		
・再資源化先の開拓		

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組内容
①節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	ビルの家賃に含まれているため数値としては出せないが、節水を掲

②節水運動を引き続き呼びかける	○	示するなど全従業員に節水運動を呼びかけ節水意識を高めている。引き続き節水の意識を高める活動を推進する
③蛇口の締め忘れの点検	○	



環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	前年同様に、工事の効率化と合わせて環境への配慮は重要視しながら、1つ1つ丁寧な監督業を行うことで市民からの苦情もなく、地域に寄り添う会社として工事の推進に励みたいと思います。
・作業ミスの防止	○	
・顧客クレーム削減	○	
・廃棄物の再資源化の推進（別項目で実	○	

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	ここ数年は入札が取れていないため、元請け業務はできていないが、日々技術の継承のために教育を行い、今後の事業のために従業員一丸となって努力をしている。近年は下請け工事は取り組んでいる。
・公共工事の入札のための積算業務	○	
・事業拡大のための資金調達、人材確保	○	
・働き方改革	○	

各事業所の取組紹介

＜本社＞

大阪府八尾土木事務所管内で、大規模な災害が発生した場合やその恐れがある場合に、中河内ボランティアとして協力、当事務所が所管する施設の被害状況を速やかに報告することで、被害の拡大防止と迅速な復旧活動を図る活動に協力しています。

毎年、大阪府八尾土木事務所にて研修→を受けています。



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物など適正管理
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	安全運転管理者等
建設リサイクル法	ガレキ副産物
消防法	消火器設置
労働安全衛生法	土木工事の安全管理
顧客要求事項	工事品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等、過去3年間、クレーム等について、ありませんでした。

確認日：2024年4月30日

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生

■実施日： 2023/11/16

■実施場所： 本社

■参加者： 代表及び全従業員

■実施内容：

・通報訓練、消火訓練、避難訓練

■評価：

消火器の使用方法を学ぶことができた。

手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし

■実施状況の様子



全従業員で消火活動訓練の様子

代表者による全体の評価と見直し・指示

少人数のため、エコアクション21の取り組みには難しさもあるが、徐々に理解を深め環境活動を定着しつつある。今後もエコアクションの活動意識を減らすことなく、引き続き取り組みを強化していくことで成果が出るように活動していく。

- ・経営における課題とチャンスに適時、明確にし、環境経営経営を策定し、取り組んでいく。
- ・SDG s の取り組みについても社内教育を行っていく。
- ・なるべくエアコンの使用を減らす。
- ・無駄な電気や水道を使用しないようにする。

など、難しいことではなく従業員一人一人の気持ちの持ちようでコツコツと節約を心がける必要があると思う。エコアクション活動はまだスタートしたばかりですが、猛暑の中でも節電を行った結果1年間通じてCO2の排出量を減らすことができたので、この活動を初めてよかったと思う。目標等については変更せず、日々の呼びかけでエコ活動を継続し続けていくことが大切だと考えています。今後もエコアクションの活動を通じて環境への配慮を心がけていきたいと思っています。

評価日: 2024/4/30

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

社内の掲示ポスター

